福祉おやべ

多景



中学生・高校生のサマーボランティアスクール…… 1.2 赤い羽根共同募金、広がれケアネット …………3 地区社協紹介だより【正得地区社会福祉協議会】……4 ふれあい体験教室、ボランティア連絡協議会だより、 やんぼらクラブ通信………………5 第62回小矢部市社会福祉大会、災害ボランティア コーディネーター研修会、善意の窓、お詫びと訂正……6

中学生・高校生のサマーボランティアスクール (小矢部市赤十字奉仕団員の皆さんと炊き出し体験)

社会福祉法人 小矢部市社会福祉協議会 〒93<mark>2-0821 富山県小矢部市鷲島15</mark>番地 TEL (0766) 6 7 - 8 6 1 1 FAX (0766) 6 7 - 4 8 9 6 https://www.oyabe.or.jp 社会福祉協議会ホームページ ➡



中学生・高校生のサマーボランティアスケール

夏休み中にボランティア活動を行う「サマーボランティアスクール」を全3回開催しました。 市内中学校・高校に通う生徒延べ28名が参加しました。

◎小矢部市障害者スポーツ大会◎ (7月30日)



大会では、8チーム対抗でボール送り、玉入れ、フライングディスクの競技が行われました。大会運営の 手伝いや競技補助などに携わり、参加者の皆さんと交流を深めました。

【参加者の声】

- ・聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとるために、大きく口を動かして話すなど工夫することができた。
- ・障がいのある方と関わっていくうえで、障がい についての知識が大切だと感じた。

◎小矢部市赤十字奉仕団員の皆さんと炊き出し体験◎(8月3日)

小矢部市赤十字奉仕団員の皆さんと、炊き 出し体験・紙食器作りをしました。実際に作 成した紙食器で、炊き出ししたカレーを食べ ました。

【参加者の声】

- ・災害時に役立つ知識を増やすことができた。
- ・今後災害が起きたとき、何かお手伝いができ たら良いなと思った。
- ・カレーはとても美味しく、楽しく活動に参加することができた。



◎障がいをおもちの方との交流と作業体験◎(8月7日)



午前は、市総合保健福祉センターで、事前学習とレクリエーションを行い交流を深めました。お弁当を一緒に食べた後、福祉作業所あけぼの第一に移動し作業体験を行いました。

【参加者の声】

- ・障がいのある方々とコミュニケーションをとることを難しく感じていたが、自然に自分らしく話せばいいんだということがわかった。
- ・相手の表情を見て話すことで、相手が今ど んな気持ちなのかわかることができた。

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります(12月31日まで)。

小矢部市共同募金委員会では、運動期間中1,000円以上ご寄付いただいた方に、

「メルギューくん&メルモモちゃん 赤い羽根ボトルホルダー」

をお渡しいたします。



ドリンクやスマホの 持ち運びに便利!



皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【問合せ】

皆さまからお寄せいただきましたご寄付は、自分たちの地域に住む高齢者、障がい者、子どもたちなどを支援する様々な福祉活動や災害時支援に役立てられています。

小矢部市共同募金委員会 (小矢部市社会福祉協議会内) TEL 67-8611

広がれ!ケアネット活動

ケアネット活動とは、困りごとがある方に対し、見守りや話し相手などの活動を通して、 **「住み慣れた地域で、お互いに安心して暮らせる福祉のまち」**を目指した活動です。

市内18地区社会福祉協議会が中心となって活動しています。外出支援等の一部の活動は有料となっています。





声かけ・話し相手



高齢の方などで 困りごとをお持ちの方

ゴミ出し

除雪

必要に応じて、困りごとのお手伝い

地域におけるお互いさまの支えあい・助け合いの活動です。 ~地域の皆さんのご協力をお願いいたします~

【問合せ】 小矢部市社会福祉協議会 TEL 67-8611

地区社協紹介だより



正得地区社会福祉協議会を紹介します

安心な地域を目指して 顔の見える思いやり

主な活動内容

- ・ふれあいいきいきサロン『コスモスの館』(年4回)
- ・ふれあいミニサロン(年10回)
- ・ふれあい三世代交流会(年2回)
- ・満百歳・白寿・卒寿のお祝い訪問
- 歳末高齢者支援事業

- ・広報紙発行(年2回)
- ・ふれあい公民館まつり(活動展示)
- ・ケアネット研修会
- ・地区各種団体との協力事業
- ·介護予防教室















うちの地区の

髙田 洋信さん (90歳)

平成10年より正得地区社会福祉協議会長を務 め、その後小矢部市社会福祉協議会評議員・ 理事・生活支援員を歴任



"正得社協のレジェンド"といえる髙田さん。

正得地区の社会福祉事業に永く携わり、正得社協のリーダーとして地 区交流イベントの企画や運営を行ってこられました。社協以外の事業に も多く携わり、常に地区住民の幸せを考え提案・行動してきたそうです。 イベント参加者の「楽しかったよ」「ありがとう」の声が嬉しく、やり がいにつながったと振り返る髙田さん。

今もパソコンを使って職務をこなし、現在は小矢部市障害者団体連絡 協議会副会長としてご活躍です。

令和5年度 障害者理解促進研修●啓発事業

~ふれあい体験教室を開催しました!~

8月5日(土)、市総合保健福祉セン ターにおいて、手話サークルかえでの会の 皆さんにご協力いただき、聴覚に障がいの ある方との交流会を行いました。





手話を知らなくても身振りや表情で伝えられることを理 解するために、2チーム対抗でジェスチャーゲームを行い ました。最初は恥ずかしそうに身振りをしていた参加者 も、相手に伝えられたことで嬉しそうな笑顔になりまし た。その後、あいさつや自分の名前の手話表現を教えても らい、手話を使った自己紹介を学びました。

ボランティア連絡協議会だより

8月2日(水)に、小矢部市ボランティア 連絡協議会研修会を開催しました。富山市に ある四季防災館を訪れ、見学・体験を通して 防災意識を高めることができました。その後、 源ますのすしミュージアムで昼食・買い物を 楽しみました。

様々なボランティア活動を 行う参加者同士、交流を深め ることができました。



映像スクリーンの火災に 向けて放水する消火体験





やんぼらクラブ通信

『やんぼらクラブ』開催しました!! ~24時間テレビチャリティ募金~



8月27日(日)、道の駅メルヘンおやべにおいて ボランティア連絡協議会の皆さんと24時間テレビ チャリティ募金を行いました。立ち寄られた方に募 金を呼びかけ、ご協力いただいた方には感謝の言葉 と笑顔をお返ししました。募金とともに、自分たち も温かい気持ちを分けてもらいました。

『やんぼらクラブ』では、これからもみんなが優 しく温かい気持ちになれる活動を続けていきたいと 思います。

第62回 小矢部市社会福祉大会 ご案内

【日 時】 令和5年10月28日(土) 13:00~16:00

【場 所】 クロスランドおやべ セレナホール

【日 程】 13:00~ 式典 (表彰) 、議事

14:00~ 福祉作文朗読(最優秀者による)

福祉教育実践事例発表(小矢部市立石動小学校)

15:00~ 講演 「ヤングケアラーの現状と

いま私たちができること」

★ 福祉の店 ★ 渓明園、トライエ房、 福祉作業所あけぼの、 斉藤商店 エントランスにて 12:00~16:00

講師 北陸学院大学 教育学部 幼児教育学科 講 師 松本 理沙 氏





入場無料

【問合せ】小矢部市社会福祉協議会 TEL (0766)67-8611

災害ボランティアコーディネーター研修会 を開催します。

日 時 令和5年9月19日(火)19:00~20:30

場 所 市総合保健福祉センター 3階 大会議室

講 師 合同会社 HUGKUMI

代表社員 長井 一浩氏

内容 7月に小矢部市で起こった豪雨災害。その災害を振り返るとともに、災害ボランティアセンターの役割について知り、地域住民として、災害ボランティアコーディネーターとして、自分たちができること、すべきことについて考えます。



②社会福祉協議会

9月は「防災月間」です。 日頃から、災害に備えましょう。

【問合せ】

小矢部市ボランティアセンター TEL 67-8611

≪お詫びと訂正≫

福祉おやべ「こだま」第222号(7月発行)地区社協紹介だよりに掲載しました内容につきまして、以下のとおり誤りがありました。



【誤】老人福祉センター(おふろ券利用施設)

【正】花水木(市配布利用券·割引券利用施設)

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びしますとともに 訂正させていただきます。

